

地方の時代は来る！ 地方は自ら生き抜く道を模索せよ

㈱馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

あけましておめでとうございます。執筆を初めて13年目を迎えます。ファンの皆様楽しく読んでいただけるように努めますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

《田舎者・岡山を返上しよう》

岡山国体を来年に控え、あちこちで建設の槌音がしている。不況で地方が疲弊しているなかにあつて、比較的元気がいいほうだと思う。岡山県や岡山市は膨大な借金で、もう借り入れができない状態。そこで積極的にPFI、あるいはPFI的手法を利用した定期借地権制度により、公共事業を進めている。

PFIは、イギリスのサッチャー首相の時代にあみ出された方策。日本もここ数年活発に利用され始め、全国で500事例弱ある。

そこで、私が主張したいのは、スーパーゼネコンや先駆的アドバイザーに高い報酬を払って依頼することなどは、基本的にやめてほしい。岡山市や岡山県は、東京などの名前の売れたところのアドバイザーなどを頼む癖がある。相手から見れば、金太郎飴のようなもので、地域性など眼中にない。

議会も悪いのだ。初めてやるような仕事を実績があるのかないかと、つき回すから担当の職員も名前が通っているブランドなら、実体がともなわなくても職員や県民・市民から文句を言われないという責任逃れを決め込む。公務員の悪い癖なのである。

いかに有名な研究所であっても、西も東もわからない、入社して間もないような若造が岡山に来て何がわかるのか。

私が、PFIのアドバイザーや弁護士などの専門家を岡山から調達せよと進言しても、能力がないとか、実績がないとか言う。根本的に考え方を直してほしい。首長も、地元人材育成のため、積極的に地元採用方式を取り入れてほしい。

地方の時代であり、地元で活躍しているものは優秀なものが多い。受け皿のほうも実力を養い能力を高める必要がある。実際に県外まで行って講習会や研修会のたぐいを、積極的に受講し実務も積んでいる。地元の業者は、足が地に着いているため、責任感もあり郷土愛もある。

また、地元のゼネコンも奮起してほしい。スーパーゼネコンの陣笠の下に甘んずることなく、ヤル気を出してほ

しい。本当のところは下請けの方が楽なのだが、“岡山のまちづくり”は、自分たちの手でやるんだという気持ちが大切だ！

今までは、スーパーゼネコンなどが実績作りのために、採算を度外視していたが、これからは、しっかり儲ける方にまわるのではないのでしょうか。官庁も、逃げ隠れできない地元企業を優遇するような政策を考えるべきである。選択するために点数を付けて決めるという評価方式だが、あまり“偏差値”に振り回されると、ろくなことにならない。首長は、自分が目指す理想像をはっきり表明する必要がある。そうでなければだれもが、首長を勤めることができる。

(注) PFI (Private Finance Initiative) とは、従来、国や地方公共団体等の公共が担ってきた公共施設等の「設計」、「建設」、「維持管理」及び「運営」を民間に委ねることにより、公共が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスの提供を行う新しい事業手法です。

(16・1・1)

新年が動き出しました。穏やかな正月でした。皆様どのような年末年始をお過ごしでしたか？私は、大晦日に夜行バスで那智の滝で有名な西国三十三ヶ所一番札所「青岸度寺」及び「熊野那智大社」に初詣しました。道中、太平洋上に無数の星が輝き、こんなロマンの世界もあるのかと感激しました。元旦の朝7時過ぎ、太陽が海上から頭を出し、初日の出を拝むことが出来ました。自然と合掌。すがすがしい気持ちになった。初日を拜んで心があらわれる気持ちがわいたのは、何年ぶりのことだったのでしょうか？

本年は、本音の自然体で書きたいと考えています。よろしくご教示の程お願いします。

平成16年1月5日
馬場 勉

一隅を全力で照らそう！ 「国の宝」より「地方の宝」を目指す

1月に行くという。唯今に、全力を注ぐ気持ちで仕事をしたい。これからは、本音で書きたいと思いますので、よろしくお願ひします。

1. 2極化の時代に対応

小泉内閣の改革は、一言で言えば、アメリカ型の市場万能主義経済の招来をもたらす。アメリカンドリームでも分かるように、富める者と貧しい者の2極化が進む。今までの日本人は、農耕民族で競争を嫌い、ほとんどが中流階級と思っていたが、すでに昔の話。安かろう悪かろうをよしとする人がいる半面、高くてもよいから良いものを求める人が現にかなり存在しているのである。多種多様な2極化が表面化するであろう。

例えば、身近な観光バスの旅行でも、安さが勝負でしのぎを削っている観がある。しかし、高くてもよいから、ゆったりした車中で休憩時間をたっぷりとり、観光地や買い物場所などは、欲張らずに限定し、かつ看護師を添乗させれば、高齢者も安心して旅行できる。受け皿を用意することは、社会的に必要な中高齢者対策にもなる。

老後を楽しみ、美田を残したくない

と思っている人は、結構多い。

2. まちづくり推進局へ改組せよ

岡山市政のことを一言で。萩原市長は“まちづくり”に熱心な人。私だけでなく、岡山に腰を落ち着けて頑張っている人たちは、皆さん岡山市のまちづくりに並々ならぬ情熱を持っている。だから、地元の企業や専門家を積極的に採用すべきなのである。自分たちが生まれ育ったまちが良くなることを考えているのは、当然のことだからだ。郷土愛は顕著である。

出石小学校は方向性が決まっているが、深抵小学校は廃校が決定済みであるにもかかわらず、教育関係者が今後の学校の跡地利用を考えて検討委員会に入って話し合っている。これは、おかし。縄張り争いである。岡山のまちづくりのためには、インフラの問題として捉え、広域的立場で論議されるべきである。

そこで、私は進言したい。まちづくりは、縦割り行政には向かないのである。すべての部署に関係していることが多い。だから、横断的に人を集めてまちづくりを進める必要がある。企画局を解体して、新しい「まちづくり

馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シニアプランナー
馬場 勉

推進局」に改組すべきである。新しい機構改革の立案中の今なら間に合う。市長の決断を仰ぎたい。

3. 地方の宝になる人が必要

これからは、東京1極集中が際立つ中、地方がしっかりすることが大切。個性豊かな地方になれば必ず生き残れる。最澄の有名な言葉に「一隅を照らさば、これ即ち国の宝なり」がある。比叡山にお参りすれば「一隅を照らそう」と大きな石柱が立っている。私たちは、それぞれの持ち場で力を注ぐことが大切で、そういうことができる人は、国の宝であるということ。

もちろんみんな、「国の宝」であるから各々の「地方の宝」になる資格がある。だからそういう意気込みで仕事に情熱を傾けることだ。定年後の人は、ボランティア活動などに力を注げば、立派な地方の宝と言える。岡山の人が、みんなそういう気持ちで天与の仕事に情熱を注げば、岡山は必ず良くなる。

私は本業に専念することと、岡山のまちづくりに一生涯現役の心意気で、日々努力したい。新しいことをやれば、人生は長く感じるはずだから。同じことの繰り返しでは、釣瓶落としの如く早いはず。(16・1・5)

門松も取れて、正月気分ともお別れ。今年ほうう年（オリンピックの開催年）で、一日多いが、年度末までは一気に早く進みそうです。

私は、四国八十八箇所巡礼を2回目の途中で終わっていたので、とにかく完了させたいという気持ちから再開した。約5年ぶりに訪れるお寺は、殆どが改修したりできれいになっていた。遍路の旅がブームになって、お客さんが増えているため、お金まわりがよくなったのでしょうか、水洗トイレのところも増えた。

廻っている途中、あるお寺で思いもよらない人にお会いした。巡礼中、ときたま知人に会うことがある。広いようで狭い世間です。誰がどこで見ているか、わかりませんよ！

寒波の到来、身に注意しましょう。

国会議員は何をしているのですか？ 国内の問題解決に全力を！

㈱馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

2月は逃げる。うるう年のため1日得をした気分。いや、働く日が多くて損をしたと思うか。読者諸侯はどちら派ですか？

1. 国民の“雇用と食”が最優先だ

地球の反対側にあるイラクの治安維持、あるいは、人道支援という遠大な理想現実のために、自衛隊が多額の国費と国民の支持を「担保」にして赴き、活躍されるのはご同慶の至りです。

しかし、小泉総理はじめ国会議員の先生諸侯は、もっと先にやるべきこともあるのですが…。何はさておき、若年層の雇用です。卒業しても就職先が無いため、フリーターとして身分保証の無い生活をする。悪の道への一里塚。若い層の就職の機会を作ることに、政府は全力を尽くす必要がある。

また、アメリカ産の牛肉がBSE問題のため輸入できなくなり、庶民の食事がままならない状態。食材が無いため営業ができないなんて、どういうことなのでしょう？

小泉総理は、ブッシュ大統領とトップ会談をすればよいのです。衣・食・住が満足させられないような政治家さんはダメですね。よその国のことよりもまず日本国民の安寧を充足させる必要があります。本当に！

2. 裁判官任せで本当によいのか

頭脳明晰で頭の良い人が裁判官に任命されているようだが、世間知らずの経済音痴と思われる人もいるという現実。私は不動産取得税の課税をめぐる行政訴訟でそう思った。

先日、特許に関する東京地方裁判所の判決が200億円を支払えということだった。ちょっと待てよ？裁判官は、企業活動ということをよく理解されていないのではと不安になった。

地方都市阿南市で売上高200億円規模の企業だったそうだから、決して小さな町工場ではない。月給を支給され、留学させてもらい、実験設備に多額の投資をさせたという事実。自分ひとりで、やってきたというのは思い上がりも甚だしい。青色発光ダイオードを発明したとしても、それを商品化するには莫大な投資が必要だし、人的確保も必要なのである。

100年に1度の発明と、はやしたてるから、裁判官が感わされるのだと思う。これからは、企業が研究開発費に先行投資をし、かつ、リスクを負うなんて馬鹿らしくて出来なくなる。確かに、報奨金2万円は問題であろう。相応のご褒美を出さないと張り合いがなく、やる気を失うのも事実だと思う。

成功したらいくら払うと契約するこ

とは結構だが、何もしないで無為に過ごしたならば、逆に損害を賠償せよと言えよ。

実力技術者を引き抜くということが流行になっているが、これなど無から始めて、ようやく仕事ができるようになったと思ったら条件の良いところへ転職されてはたまったものではない。こういう人をエリートと、もてはやすマスコミも悪い。人材教育などバカらしくてできなくなる。

企業がクビにするのは難しいが、従業員が辞めるといえばそれまでである。この矛盾をどうするかだ。

日本人の心が変わりつつあるから、企業は心を鬼にして対策を考えねばならぬ。特許料を問題にする人は、企業に勤めず、自分で実験道具を買い求めて自宅で発明をして、特許を取得したら企業に売りこめばよい。そうすれば、とやかく言われなくていいじゃないですか。

特許に関する問題は、日本の物づくりにまつわる重要な課題。たった3人の裁判官の考えで、左右されてはたまらない。

(16・2・3)

西大寺の会陽（はだか祭り）は、今月の21日の夜中に行われます。寒かった日もありましたが、もうすぐ備前平野にも春が訪れます。

先日、東京の上野公園を歩いた。青いビニールシートの住み家が、多く見られ定住しているようだ。ホームレスの人たちも寒くて大変だろう。岡山は幸いにもホームレスは少ないという感じを受けています。昨今、弊社は東京の学会・講習会等へ積極的に参加出席して、新規分野への実力養成のために先行投資中です。PFI（公共施設等を民間資本活用によって行う公共事業）、及び、全国レベルのまちづくり（日本都市計画学会）が主たる目的です。実績作りと弊社の能力開発が主眼で、岡山発の仕事をしたくと情熱を燃やしています。客観的に見て結構頑張っているということでしょうか？

平成16年2月12日 馬場 勉

岡山中心市街地の大胆な改造(私案) 駅前周辺を核とした将来の動向を考える

岡山馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティブランナー
馬場 勉

桜の開花予想が報じられる頃になった。寒い日もあるが、1日ごとに春めいてくる。自然の営み、摂理は人間の知恵の及ばない神秘の世界でロマンが感じられる。

1. 性懲りもない面々

どうもよくわからないのだが、一罰百戒という格言も通じない人がいるということだ。実体のない公設秘書をお膳立てして、歳費をポケットにいれ、実刑をくらった議員がいるにもかかわらず、未だに詐欺的手段で世間をにぎわせる議員がいる。救われない。背に腹は替えられないということか？

また、鳥インフルエンザが問題になっている最中に、大手の業者がどさくさにまぎれて売り払い、国民が汚染された鶏肉を食べさせられた。ふざけた連中で、箸にも棒にもかからない。お金至上主義者なのかな？

上野恩賜公園には、ホームレスが大勢定住しているのに、連日連夜飽きもせず高級飲食店で、おべんちゃらを言う取り巻き連中と怪気炎をあげている小泉総理は、“変装”をしてホームレスの多い街の実態調査に出かけたかどうか。底辺の生活環境がどんなものなのかが分かる。そうすれば考えも変わり、

政治も変わる。限られた見聞から生じる無知をなくそう。

いずれのケースも人間の弱い面が如実にあらわれて、むしろ人間臭いと言えなくはないが…。

2. グランドデザインを描く

広島の間間曰く「都市開発は東京一極集中で、外国投資企業は地方には投資をしないのがハゲタカファンドの一致した認識。その根拠は広島貨物ヤード跡地事業化の挫折による教訓」と。ブランド志向の林原さんが、有名な外国の会社に調査させたら、投資の対象としてザハヤシバラシティ計画はいけそうだとのことらしいが、岡山の人は、私を含め疑問視している。林原さんはお金の心配が無いのだから、岡山の地元民に喜ばれるような形で大事業を行うのが最もよいと思う。

私案だが、六本木ヒルズのようなデッカイビルを、「総合設計」制度を取り入れ、“空間空地”を創造する見返りに、1～2本程度建てる。チンパンジーや恐竜の博物館・デパート（岡山高島屋が移転したら）・病院（川崎病院が移築したら）・事務所・マンション等が複合混在した超高層ビルにする。そうすれば、岡山の将来のためにも有益だ。

反対する人もいないだろう。

今、天満屋（デパート）が駅前進出に動き出しているとのことで、話題になっている。第一セントラルビルを中核に南側のフジビルの買収、さらに北隣の岡山高島屋（所有者は日本生命）がザハヤシバラシティへ移転すると仮定すれば、一体面地化できるため大きなデパートが誕生する。駅の東口と西口は連絡道により結ばれるから、駅周辺の全体像がうまくいくと考えられる。

表町の地元では、川崎病院を深抵小学校跡へと希望している人達と、私立小学校誘致派とが分かれている。喧嘩両成敗ではないが、岡山市民病院が来れば、“漁夫に利”を得ることになる。岡山市民病院の跡地には介護も兼ねた高齢者向きのマンションを建てたらどうか。

私案のようにまとまれば、市民も頭を悩まさずにめでたしめでたしとなる。中心部活性化に必要なことは、点と点を結ぶ面の形成であり、回遊性のある街づくりである。特に西川緑道公園一帯の都市公園化をどうするかをプランづくりに、市民の知恵を結集することが大切である。

(16・3・3)

桜の開花は早そうですから、春の訪れは手の届くそこまで来ています。

身振り・手振り・筆談の生活を10日余り送りました。それなりに意思を伝えることができるものだと感じました。声帯ポリープの手術を2月中旬に行いましたが、おかげで完治しました。ガンの気は一切なかったので一安心。

岡山県南政令市構想は、玉野市が抜けて岡山市・灘崎町・御津町で法的合併協議会を設置する。瀬戸町と蓮部町にも呼びかけて1市4町で合併したらどうか、まだ間に合う。

将来的には、備前の国だった牛窓・邑久・長船町等との広域合併も考えうる。

昨今は、外国旅行から国内旅行にシフトしているようで、観光地はにぎわう傾向にある。岡山県も観光で売り出すチャンスだ。

志（思い入れ）の欠如が原因？ 職業奉仕に対する態度の相違

株馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

桜が満開。例年より早くスケジュールを前倒しに修正。早ければよいというものではなさそうですが…。

1. 地価動向を占う

誰しも、興味のあることは、中国の高度経済成長により輸出が好調で景気が上向いてきていることと、土地の価格が、今度どういう傾向を示すかである。

東京等の大都市では、プラスに転じた所も見られる。岡山にその影響が波及するとしても、2年程の時間差があるため、後しばらくかかる。岡山駅周辺の公共投資や、民間によるマンションの建設機運に秘められたエネルギーは大きい。私の予見によれば岡山の土地は、今が底値で上昇への反転が進むと考えている。マイナス幅の率も小さくなり2年余りで横ばい、あるいはプラスに地価は変動するだろう。

ただし、二極化の進行は著しいから、どこでも同様のことが言えるわけではない。よく見極めることが必要。自己責任の原則で…。

2. 無責任体質に思う

六本木ヒルズの回転扉は、過去に事

故があったのだから、なぜ真剣に原因追求と再発防止策の強力な対策をしなかったのだろう。観光スポットになったので有頂天になったのだろうか？

また、大型車のタイヤが走行中にはずれる原因が整備不良という理由でおざなりになっていた。企業のプライドが自信過剰になったのだろうか？ 大企業病が蔓延しているためか？ いずれにせよ、最近の事故などを見聞するたびに、どうも真剣に仕事に取り組んでいないのではないかと思われる。重大事故が起こってもなすりあいや言い逃れをする。

思うに、何事でも初期には思わぬミスが発生するものである。どんなに優秀なスタッフが完璧と思っていても起こるものである。「火事はぼやのうちに消すこと」である。

自分の仕事に対する熱意・誠意・愛情などがあってこそ達成する。基本的な姿勢は仕事に対する“奉仕の精神”だろうと思う。そこには仕事に対する思い入れが、磐石になければならない。思い入れ、言い換えれば志（こころざし）が根底にあって、天与の職業を誠実に行なうという真摯な気持ちがなければなるまい。もう一度自分の仕事に対する志を反省してみよう。深い思い入れが無ければ、本当に良い仕事はで

きない。職業に貴賤は無く無益なものはない。

ベンチャー企業がもてはやされるが、ベンチャーに対する支援策も至れり尽くせりである。しかし、一昔前までは仕事を立ち上げるのに、手取り足取り支援してくれなかった。自らの力で頑張っていたのである。だから足腰が強くて、少々なことではへこたれず、失敗しても最後まで諦めなかった。

最近では、成功すれば上場して創業者利益を得るが、株価が安くなっても知らんぷりの人が多すぎる。こういう風潮が、個人株主の株離れを誘発した。

ベンチャーで本当に成功するには思い入れが無ければ、失敗しても失敗してもなおかつ続けられないと思う。やはり“志”が必要なのである。もう一度原点に立ち返って、職業（仕事）に対する思いを考え直す必要がある。日本の再生は、こういうあたりからの手直しの努力が無くてはダメなのではないでしょうか。

老舗といわれる企業が倒産するのを見るにつけ、創業者の思いが時を経るに従って変質し、タガがゆるんでしまっているように思えてならない。

(16・3・31)

新緑が美しい季節へと移りつつある時季、生命の息吹を感じます。

将来を嘱望されていた市役所の人材が、ガンのため亡くなりました。40歳～50歳代は、多忙かつ色々な意味で責任が重い、体調がおかしくても休めず無理をするきらいがある。人生は生き抜くことですから、早期発見かつ治療に専念すべきでしょう。長い間には敗者復活戦のチャンスはいくらでもあります。一時的に撤退の勇気がありますよ。岡山市民病院は、勤労者のために夜間診療を行うべきです。そのために赤字になっても市民は納得しますから、自信を持って夜間の一般診療を行ってください。よろしく。私は俗に言う定年を通過しましたが、ますます新規分野等への開拓に情熱を燃やし武者修行中です。学問（勉強）好きな性格なのではないでしょうか？楽しい日々ですから、それでよしとしましょう。

平成16年4月12日 馬場 勉

本当に景気は、回復しているのか？ 表面的な数値では、安心できない。

（株）馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

ゴールデンウィークは、天気がよさそうです。非日常性を求めてお金をばらまいてください。少しは景気回復の一助となるでしょう。

1. 犯罪心理を学ぶ

犯罪人の言動が、如実に表れて教科書に載せられる実例。それは、超有名なエコノミストだった植草一秀センセイの破産犯罪による逮捕劇である。

思ったよりマスコミは記事にしないが、学問的には興味があり常習犯の心の動き、表の顔と裏の顔が存在する人間の二面性を顕在化した好例。

取締りのプロに挙動不審でマークされ、現場を押さえられてもしらを切る。逃げ切れないと観念して犯罪を認める。ところが、留置場で罰金ではなくて実刑になるかもということで逃げ切ることを考えて、故意（内面の意思）を否認し続けている。

反省の姿勢が見られず、過去の栄光のプライドが邪魔をして、頭がよくさわやかに話す美男であっても、精神病的な側面が認められるため、刑務所より矯正施設で病気を治す方がよい。

遊びたいのなら、お金をケチらずにオプションすればよいと思うのは、まともな人の考え方。スリルがないと生

きがいを感じないところが、センセイの病気。

性犯罪の場合は、常習性が強いいため、社会防衛の見地からの検討が必要となる。専門家が多面的に解明し、発言してほしい事件である。内部告発があったのか、テロ警戒中に網にかかったのか知らぬが、予防策に勝るものはないことは確か。

2. 鉄くず価格の教訓

景気の判断材料に、鉄くずの価格が有力な指標となる。現在、鉄が急騰している。中国の建設ラッシュによる高度成長で、原材料の資材に特需があって輸出がすごいのである。中国と米国の好況により日本の景気が上昇傾向にあることは、統計の数値が証明している。

しかし、急に上昇する時は、急に下がるのが経験則として認められている。だから、景気が回復してきたと楽観はできないのである。内需の個人消費が、だんだんと上向いていくのが本当の景気回復といえるだろう。

ところが、小泉内閣は、アメリカ流の経済政策をよしとしているため、富める者と貧しき者との二極化が進行している。その結果、高級ブランドを買

う層と、安価な物を購入する人々とに分離されつつあるため、中間層をターゲットとしている従来の日本の産業構造が、根本的に問い直されることになった。どっち付かずの商品を製造すれば、販売不振ということになり倒産という憂き目にもあう。

従って、アメリカンドリームを求める政策を追求するのであれば、それに沿う産業構造改革（製造・販売等々）をしなければ生き残れないし、本当の日本再生は、難しいということだろう。

外需に踊らされている間はよいが、つかい棒が外された時にはどうなるのか？ それが、鉄くず経営者からみた景気観測では、どうなるのか分からないのが本音である。

ところが、地価下落により歓楽街の高級店が撤退して家賃が下がったり、土地が競売になり、風俗店が目立つようになった。全国的な現象で岡山も例外ではない。驚くなかれ、名古屋の街は、客引きやチラシ配りがほとんどいない。街がきれいであり歩きやすい。岡山も見習って1人で歩ける街にしてほしい。当局のヤル気を期待します。

(16・4・28)

新緑のよい時候になりました。「出処進退」は瞬間的かつ総合的判断により時機を逃さないことが重要だろう。党の代表や官房長官を辞める、あるいは、辞めろという嵐の中では苦渋の選択だろう。地位が、上がれば上がるほど発言は慎重に、無駄口は慎むことが大切。私及び弊社は、総会や講習会などへの出席により知的好奇心に燃えています。研究開発費を先行投資して新規事業（特にPFI事業）の準備に余念がありません。

東京に行ったときの楽しみがあります。東京国立博物館に立ち寄って、国宝や重要文化財の現物を見て鑑定眼を養っています。人間や文化財を見る眼がなければ、本当の不動産の鑑定はできないでしょうから。

岡山市と倉敷市が、合併したらよい！ 本物の市民意識が、芽生えてきた

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

今年も半年が過ぎようとしている。梅雨時のうっとうしさもありますが、恵みの雨でもあります。四季のよさを感じましょう。

1. 年金は、支払えるうちが花

厚生年金は、所得があれば20歳から70歳まで支払わねばならない。複雑怪奇な仕組みなので分かりにくいですが、70歳まで支払うとなれば長生きしないと元が取れそうにない。

思うに、70歳まで支払えば幸せだ。あなたは年寄りですから、もう年金を支払わなくてもよろしいということになれば、自分を社会が必要としないという気持ちがある。やはり、元気に働けて収入があり、支払うことにより社会貢献ができるのであれば幸せだ。

小泉総理は、もっともらしく発言し、逆ギレをして開き直るが、話がおかしい面が多々ある。学生の頃のことは知ったことじゃないと言わんばかりだが、国民が20歳から相互扶助の精神の下で年金を納めるようになったのだから、総理たるものは国民に模範を示す意味からも、もっと慎重に発言してほしい。

また落選中、大物代議士の福田邸で修行をしていたにもかかわらず、不動産会社に勤めもしていた。社長が「選

挙に勝つことが目的だから、会社には来なくてもよい」旨を言ったそうだ。いい社長だったと悦に入って吹聴している。

そういうことが、この世の中でまかり通るならば、税務署が会社の経費として何も言わずに認定してくれるのだろうか？ 例えば、子供を大学にやっけていて「お前は、勉強が本業だから会社にこなくてもよい」という理由で、月給を支払いかつ厚生年金に入っても許されるでしょうか？ 税務当局が、本当に、税務会計上認定してくれるのであれば、総理を見習って実行する人は多いと思う。

小泉流処世術では、納税者等に示しがつかない。「ああ言えばこう言う」というような姑息なその場限りのことは言わない方が、得策じゃないですか。私は、失望しました。

2. 市町村合併は、結婚と同じ

国は金がなくなったため、手切れ金を支払って合併を促進させている。国の方針に従って合併するかどうか、模索しているのが現状である。

岡山市は中核市から政令指定都市へとレベルアップするため、玉野市をはじめ合併相手を探しているが、思うよ

うにいかず、流動的である。

いっそのこと、岡山市と倉敷市が一緒になった方が、いいのではとの見方が根強い。「ツインシティー構想」があって、岡山経済同友会では継続かつ検討している。

また、両市は「岡山・倉敷まちづくり協議会」を平成15年5月に立ち上げて、既に13項目にわたり共同で事業を進めている。昭和38年頃に岡山市と倉敷市の広域合併の話があったが、頓挫した経緯がある。偉い人が反対したのだろう。一昔前と違って今は様子が違う。市民の声の発言力も強く、世論の形成も単純ではない。「百年の大計」の有り様を考える時機到来ではありませんか。

チボリ公園は、岡山・倉敷の商工会議所レベルでは、強調体制が取られている模様。ただ、強力に合併反対を主張すると思われるのは岡山県庁（県知事）だろう。なぜならば、岡山・倉敷が政令指定都市（100万人以上になる）をつくり、津山市などが広域市政を敷けば、県庁は不用になりかねないからだ。「時代の流れを読む」ことが大切だろう。

(16・5・31)

見聞したところ、東京・名古屋は元気な街になっている。地方都市との格差は極端な二極化が、進行中である。地方交付税等を柱とする三位一体を問題にしたくなるが、行政を預かる方々の人情だが、主体的にみずから生きのび発展する方策を模索する必要があると考えられます。岡山市に限れば、街づくりのプログラムマネージメントをして、明確な住みよい街並みの形成に早急に取り掛かるべきだろう。地区区分がはっきりした街並みでなく混在しているため、回遊性が創造できない状況にあるように思われる。

平成16年版「地価公示要覧」を作成しましたので、必要な方はご一報ください。お送りいたします。また、弊社のインターネットは <http://www.babakanteisho.co.jp/> ですのでご覧下さい。この文章なども載せますから。

岡山のまちづくりはどうなるの？ 心配になってきた県都の方向付け

榎馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

うっとうしいイメージがわからない昨今の梅雨。気候も時代とともに変化するのだろうか？夏はもうすぐ来ます。

1.常識と非常識

山陽新聞の夕刊に「一日一題」という面白くてためになるコラムがある。岡山県庁の島津局長が執筆された文で、役所内からみた常識が書いてある。究極の行財政改革は、遠慮なく議論することに尽きるようだ。役所の常識その1、「大過なく」仕事をこなすこと。適正にチャレンジ精神を評価して、人事に反映させることだ。その2、「もの言えは唇寒し」という役人の保身本能が極端に議論を嫌う風潮になっているようだ。

だからか、審議会などの委員さんは発言しない方が多く、イエスマンを採用しているのかとかんぐる。だれも責任をとらず、うやむやになってきた。過去の反省から、事業評価制度が花盛りになった。

行政と審議会や議員の委員会は、緊張関係にある方がよい結果を生む。場を盛り上げるムードメーカー的役割を果たす人も存在するから、審議会等は変わりつつあると思う。議論の無いところに改革はない。遠慮せずに発言することが重要。

2.生き方「いろいろ」

人は、暇つぶしにいいかげんなことを考えるものだが、今の私は少し変わってきた。新しいことに挑戦して、勉強をしようと思い立った。現在、P2M（プロジェクトマネジメント、プログラムマネジメント）の講習会に名古屋へ通っている。指導理念に基づいてプログラムを組み、マネジメントとしていくという程の意味で、新しい分野の学問。政治や行政・まちづくり・PFIなどあらゆる分野に応用できる考え方。

さて、暇で学問等々にうつつをぬかしていても、24時間365日の勤務体制を敷いている。事務所から携帯電話に転送させて、臨戦体制をとっている。名古屋市の中心部はきれいでコンパクトないいまちだと思う。経済的にも元気のよいまちであるが……。まちづくりに興味を持つ者として夜のまちも見聞しなければならぬ。客引きやチラシ配りがほとんどいない歓楽街地区が現にあるのに驚いた。風俗店はないのかと思ったが、ネオンサインは控えめに輝いている。監視カメラや通報で警察がすぐ検挙するらしく、数回違反をすれば営業免許停止になるとかで、店側が慎重になっているようだ。

岡山市中心部は、風俗店の客引きや宣伝カーが走りまわるなど、汚いまち

になってしまった。もっと真剣にまちがどうあるべきかを考えなければ岡山は衰退の方向に進むでしょう。私が非常に心配していることは、中心部に人が住む政策をとるのは結構なことですが、もたらそう大通りなどの目抜き通りにマンションが建ち並び、一階は駐車場という構成になるのは、まちの回遊性の視点等から判断して困る。低層部分は店舗にしてほしい。銀行は3時には閉めるのだから空中店舗がよい。お金の出し入れ機とコンビニなどを出店させて集客をはかる方が収益性もあがるし繁華性が生まれると思う。

地方都市岡山は街の住み分けができず、ゴチャゴチャに混在している。狼狽さのあるまちのよさもあるのだが、地区計画により低層階部分は店舗などに限定するような地区条例を制定して、中心市街地の活性化を考えなくては手遅れになる。

(16・7・5)

空梅雨の可能性が高くなりましたが、梅雨末期の集中豪雨が怖い。テレビで『生涯にわたり勉強、生涯にわたり感動、生涯にわたり青春』の旨の偉い人の話があった。そういう人生が送れば幸せだ。努力してみたいものだ。これから夏休みに入り暑い日が続くでしょうが、健康には留意しましょう。

都市銀行における不良債権処理は、おおむね完了しました。これからは地銀・第二地銀・信用金庫などの、地方金融機関による不良債権処理が進むでしょう。地方貢献という大義名分があり、難しい選別の時代に入ります。

やはり、なにはさておき、議論し発言しかつ執筆することは、大切なことだと実感するようになりました。

平成16年7月9日 馬場 勉

人生「いろいろ」は、名言なり 広い世界を、知ることの大切さ

(株)馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

たまたま、その時は東京の会場にいた。39.5度。どよめきの声があがった。人工熱の放出が、多くなる一方だ。酷暑には、驚かなくなるでしょう。地球温暖化加速する。

1. 猿、いろいろ

島倉千代子さんが「人生いろいろ」を歌った。鮮明な記憶が残っている。誰しも、自分の人生を振り返ってみれば思ってもいなかった事象や体験があることに気づくものだ。こんなはずではなかったと……。だから、小泉総理が会社もいろいろ……と発言したのは、深遠な真理を含蓄している名言のはずだが、表現の仕方に問題があった。国民からは、なめているととられたのがまずかった。特に、女性は気持ちが一旦離れると回復困難らしい。それが証拠に、支持率は低下の一途。もうダメだあ～。

先日、犬山市にあるモンキーセンターに猿を見に行ったら。猿回しの日本猿くらいしか思い浮かばないのだが、現実には、尾(しっぽ)のあるのがいれば、ないのもいる。大きな図体もいれば、ねずみくらいの小さいのもいる。夜型もいる。人間の顔そっくりでギョッとした猿もいた。まさに、サルいろいろでした。

「いろいろ」は、今年の流行語大賞

間違いないが、自分の知らない「いろいろな世界」があるということを知ることだけでも大変有意義だ。「いろいろな考え」があるのだという包容力で、他人を受け入れ、協調性を養って平和な社会を築くということが、究極の目的でなければならぬはず。本当に、そう思いますよ……。

2. 官庁こそ、最高のサービスを

公務員の世界は、登用試験による階級別年功序列を基礎に、終身雇用制度の結構な世界。世の中が実力主義、リストラ、年俸制等の採用で厳しさが増す中で、相変わらず日本特有の平和で平均的な機会均等制度を敷いている。

その中でも、学芸員とか司書は学問に専念し、好きな図書と向き合っているのがよい。一般国民や市民へは、最良のサービスに徹すべきであると思うが、朝から夕方まで開館して定休日は休むという生活を送っていると、日常と相違する別の制度導入へは拒絶反応を起こす。ところが、サービスを受けるほうからみれば、アルバイトを雇ってでも休まず開館して欲しい。また、夜も遅くまでやってもらいたい。必要とするときに調べができれば、実務に大いに役立つからだ。

例えば、東京国立博物館は、夏休み中は休まず開館しているが、平素は月

曜日が休館となっている。これはまずいと思う。外国からのお客様や地方の上京組み、さらに昼間働いているサラリーマンなど、夜間に行きたくても閉館しているということでは、サービスの提供が十分にできていないことになる。公務員自身が休まずやれというのではなく、学芸員の卵をバイトで雇用して活動すればよいと考える。

ところで、岡山県立図書館が新しく再開する。時間延長されるようだが、月曜日は休みと聞く。私のような考えだと、休まなくてもできるはずである。もし、職員では運営が困難であれば、民間に運営を任せればよい。「指定管理者制度」を導入すれば、さほど難しいことではないはず。サービス料の対価を支払えば、民間の知恵と工夫で県民に多様かつ良質なサービスを提供できるはずである。

立派な建物や設備が出来ても、運用や公務員諸氏の考えが変わらなければ元の木阿弥。24時間開館の図書館も稼働している時代。生活の多様化により、県民の要求が厳しくなっている。それに対応できる方策を考えるべきだ。リーディングケースになられることを期待する。(16・8・3)

お盆を迎える時期になりました。暑いのも後しばらく。今年は、3年に一度の固定資産税課税のための評価換えの作業が、ただ今、汗を流しながら行なわれています。かなりの数がありますので見て廻るだけでも一苦労ですが、気合が入っていますよ。

夏休みとは、無縁の生活を送っている毎日ですが、今年は8月28日から9月4日まで、北欧に岡山経済同友会の視察団(観光も楽しみ)の一員として参加することになっています。みやげ話ができればいいのですが……

韓国の「冬のソナタ」が人気だそうです。日本人は忙しすぎて純粋性がなくなったのでしょうか？まさに、人生いろいろだと思います。将来を見据えてガンバリたい。

よく学び（練習し）、よく遊べ（楽しむ）

アテネオリンピックからの教訓

株馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場勉

深夜型からの生還。「金」「銀」「銅」に勝るとも劣らぬ「無」もまたよし。夏から秋へ移り、実りの時来る。

1.無駄死をしないために

いびきをかく人は多い。鼻や咽喉（のど）の風の通りが悪いために起きる現象。寝ているときに空気の通り道に蓋をして、呼吸ができない状態が続くのが「睡眠時無呼吸症候群」といわれる病気で、夜中に息苦しくなって目がさめ、口の中がからからになった経験のある人は、“死”と背中合わせであることを認識しましょう。血中の酸素不足のため、高血圧や心臓疾患になりやすく、朝、冷たくなっていたという悲惨なショック死にならないためには、治療がいる。

私は、夜中に息苦しくなって目がさめた。死ぬのはまだ早いため、レーザー光線で焼き切って、息の通りを良くしたら快適な生活がおくれるようになった。たかがいびきと思うなかれ。ようやく治療体制が整ってきているところ。岡山市民病院が本格的に治療に取り組んでいるので、気になる人は是非診てもらおうことをお勧めします。質の高い人生を送るためには、治療をして安心を買いましょう。

2.役人さん達の頭の中

どうも高級官僚や学識経験者の方々が考えられる行動パターンと、一般庶民のしもじもの見方とは、時々ずれているのではという気になることがある。

情報公開が進み、パブリックコメントを募集したり、事業評価制度を導入して公平・公正を期するようになってきた。こういう傾向は、従来の審議会などが形骸化したことにより、だれ一人責任をとらない。結果責任がうやむやになってしまっている。民間企業だと責任を取って左遷をさせられるか、クビになってリストラされているというのに・・・。

例えば、法制審議会の下に、人名用漢字部会がある。マスコミが取り上げて問題になったが、子供の名前に「糞」「屍」「呪」「癌」「姦」「淫」「怨」「痔」「妾」など使用できるかどうか？何の疑問も持たずに審議会の議題にあげた役人、さらに、認めた学識経験者は何を考えているのでしょうか？凡人からみれば、雲の上の人が、人名に相応しいかどうかの判断をしたというのに・・・。こういうことでは、政治や行政がおかしくなるのももっともだと思った。

また、関心事の厚生年金だが年金は、25年以上積み立てるのが前提の拠出

型である。よって、60歳以上になった人には、経済状況に関係なく、年金を支払うべきである。

だが、現実には所得のある人は70歳まで納めるが、年金はもらえない。これはおかしい。収入があると年金の支給額が減るからと働ける状況にありながら、プラプラしている人が結構多い。楽をして遊んでいる方が、得になるという現行制度はダメ。

3.特攻隊精神の限界

従来は、無批評に竹やり方式で尻を叩いてお国のためにと頑張った。日の丸が真ん中にあがったら涙・涙・涙……。ところが、史上最高のメダルを獲得したアテネ五輪は、様子が違う。科学的に練習し、金を掛けて外国へ行き、マイペースで練習に励む。

国のためではなく、自分の楽しみのために耐えて、練習する。勝っても負けても喜怒哀楽はクールなためあまりでない。練習もまた楽しいのである。スポーツだけを特別扱いする必要もない。地道に、日々努力奮闘している若きサラリーマンも多い。いずれも国の礎として大切なのであるから。

(16・8・25)

岡山県に影響を及ぼす台風が目立つ。先日は、県南地域に高潮の被害がでた。多数の死者・行方不明者が出た伊勢湾台風を思い出す。国土保全のために公共事業費を投入。その効果もあって被害も少なくなった。やはり公共事業は必要だ。田舎の支えがあって都会が成立しているのだから地方切捨ては、都会派議員の思い上がり。岡山県は天災が少ないという神話が災いした。公共投資をすべきところも残っている。

「世界いろいろ」という感がしました。北欧及びロシアを視察して、生活習慣の違い、都市づくりの発想の違いを実感した。日本パッシングに翻弄されて自信を喪失してきたが、客観的に比較すれば日本は自信を持つべきだと確信した。

回遊できるまちづくりを 歩行者空間の見直し

㈱馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティプランナー
馬場 勉

台風一過。さわやかな秋の気配。イビキの治療をした私も気分爽快。ぐっすり寝れて寝起きが良い。

1. 健康第一

現役の不動産鑑定士の同僚が亡くなった。私は考えるところがあって、酒を断った。二日酔いでは仕事ができないためだ。健康体でどこも悪くなくOKとなった。この年齢で合格とはうれしいじゃないですか。酒・タバコはやらず、何が楽しみかと聞かれて、仕事と答えることにしている。どこまでが仕事で、どこまでが趣味かわからなくなったのが現実。

仕事柄、外を歩くことや見聞することが多く、それが高じてまちづくりに興味を持ち、健康が続けば生涯現役を貫けられると淡い期待を。やはり、仕事をしなければダメ。

幸い、周りには元気に一線で働いている人が多くいるため励みになります。私の乏しい経験から考えれば、90歳まで環境が整備されている限り働けるようだ。力仕事は出来なくても頭での仕事や社会貢献のボランティアもできる。

子供と老人は相性が良いため、老人のボランティアとして、互いに融合する政策をとれば、少子化の問題も解決するだろう。高齢化による介護の問題

すか?官・民共同でやってみられては…。

2. 自転車に市民権を

歩行者と自転車の動線を明確に区分することが求められる。既存の歩道に色分け、植栽等で、歩行者専用道と自転車専用道に区分し、歩道をより安全性が高く、魅力的な空間にすることが必要だ。

また、桃太郎大通りを例にとれば、路面電車はシンボルである一方、自動車は交通可能な有効幅員を狭めている。路面電車の軌道の上を、自動車も走れるようにすることで、車の混雑等を緩和できるのではないのでしょうか。

車両は原則として軌道敷内を通行してはならないとされている。しかし、岡山県公安委員会が通行を許可すれば車が走れる。

道路の有効活用のためには、頻繁に通らない路面電車が独占的に道路を使用するのではなく、車との共用を促して空(あい)た空間を自転車専用道路(駐輪場としての利用も含む)にすることも考えなければならない。ヨーロッパの自転車専用道は参考になる。

さらに、通り沿いに点在する店舗間の連続性が乏しく、点を線あるいは面としてつなげる工夫が必要だ。

諸外国、特にヨーロッパやロシアに

おいては、大通り沿いに住・商混在のビルの1階が店舗として集積し、上部はマンションとして人が住んでいることにより街並みの連続性が保たれて、より魅力的な空間作りに成功している。

したがって、通り沿いの事務所ビルの1階全てを店舗に統一することが必要ではないでしょうか。現状では、新規ビルの1階を店舗にするよう、行政側で強制することはできないが、地区計画でゆるやかに規制をかけることは可能。また条例等で規制をかける方法もある。本気で検討する必要があるようです。

回遊性があれば街中を楽しく歩き時間の経つのも忘れ、距離も長く感じなくなります。このことは大都會の街、例えば銀座やターミナルは楽しく、歩いても時間と距離を苦痛に思わないことにも通じます。

(16・10・1)

とにかく台風が多い年。岡山はうまく避けてくれているが、高潮被害は大変だった。

最近の私は、週の内2日程度は県外にいるというような状態が続いていますが、仕事はしっかりやっています。常に職員へ仕事の指示はしており、岡山にいるときは夜の10時以降も事務所にいることは珍しくありません。

先日、「固定資産評価研究大会」に出席のため東京に行き、「暴力団事務所と地価下落の相関関係」というタイトルで、分科会において研究発表をしました。全国からおいでになった市町村関係者・学者・実務家等々の関心は高かった。住民の納税意識が、市町村を確実に動かしているようです。暴力団事務所に限らず、見てみぬふりをする行政の「不作為」は、これからは通じなくなるでしょう。

平成16年10月12日 馬場 勉

生と死は、紙一重 自然災害を教訓にせよ

俣馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティブランナー
馬場 勉

思いもよらない猛烈な台風がきた年だった。
カレンダーを配布する頃になりました。
今年は後1カ月半足らずです。

1. 国土の保全と防衛を

台風16号と23号は、災害が少ないと言われている岡山にも甚大な被害をもたらした。特に23号の暴雨風はすごく、風圧で自動ドアが開いたほどだった。どんなに立派なことを人間様が言っても、お天道様に逆らうわけにはいかないんだということ。

しからは、どうするかとなると予防をしっかりと守りを固めるのが第一。無残な災害現場の中にあって、感動的シーンがいくつかあった。国民に希望と勇気を与えたと思う。

立ち木やバスの屋根の上で真っ暗な夜中でも一晩過ごすことができるということ。また、強運が奇跡が分からぬが、岩と車の間にはさまれて92時間生きのびた幼児がいたということ。人間はそう簡単にはクタバラないものだ。

反面、人間は何でこんなにもろく亡くなるものかと思われる時もある。運とってしまえばそれまでだが…。私は出血性ショックで一時的に気を失ったことがあった。病院内で処置がすぐできて生き返った。時間が勝負の時もある。生きるか死ぬかは時の運による

かもしれない。強靱な体に生んでもらい、強運で生きのびた人はしっかり仕事に励む義務があるかも知れません。

やはり自然を相手にする限り、何が起るかかわからぬ。だから、家を補強し、公共事業を行って、国土の足腰を強化しなければならないのだ。

高速道路を延伸して救援物資が搬送できる体制が必要。経済性と効率性の面ばかりを強調する偉い先生たちがいるが、東京に住む自分だけ良ければよいというエゴイストなお方だと思う。田舎切り捨てにつながる。

しかし、考えてみよ!電気・水道・食べ物等は田舎が供給源であり、空気(酸素)だって、森林からの恵みなのである。黒塗りの車で送迎されて、うまいものを食べている人たちには田舎びとの苦勞が分からないのだ。東京のみで日本は成り立っているのではないということに、思いを巡らす機会になれば幸いです…。

2. 国家100年の大計を

石井県知事の3期目のご当選おめでとうございます。前の知事からの事業が成功へと向かっているものもある。反面どうにもならず、負債として重荷になっているものがある。活用できるものは積極的に再生させる。ダメなものは清算するという決断もいる。

他人のことは分かるが、自分のことは分かっても変革しにくい。ましてや、肥大化した体制をスリム化するのは大変だ。公務員制度そのものの保守的な体質もあるが、自ら行う体質改善がもっとも大切だ。時代の流れを読み取り“潮目”であるただ今をどういうように舵取りするかは重要なことである。

例えば、土地区画整理事業や都市計画街路計画の廃止を念頭に入れた見直しが必要である。戦後夢見た都市の設計図も、街は生きものであるため、根本的に見直す必要が生じている。

リーダーが、100年の大計を胸に判断しなければならない。その時に、声の大きなものや圧力団体に左右されず、声無き声も広く聞いて、後世の人たちに評価されるようなものを残さなければならない。

人は必ず死ぬ。死んだ後、語り継がれ、名声が残るようなものが欲しい。取り巻きのイエスマンが、良いことを言ってくれば、うれしくなるものだが、厳しく忠告発言してくれる人たちを尊重することも大切だ。長くなればなるほど権力者に苦言を言うものが少なくなり、腐敗していくのが歴史の教えるところだ。県政に新風を吹き込むためにも、初心に立ち返っていただきたい。(16・11・1)

紅葉のきれいな時候になりました。いかがお過ごしでしょうか？

台風の被害は大変なものです。先日、バスで九州の大分・別府あたりまで行きましたが、潮風に痛めつけられて竹林が枯れていたり、立ち木が倒木していました。岡山県北でも出荷間近い杉・桧が根こそぎ倒れているなど、すさまじいものでした。

嘆くだけでは始まらないので、後片付けに精を出すとともに、クマの出没を防ぐために広葉樹林に切り替えるのがよいかもしれません。林業では生業がなりたないため。

金融機関・生保・損保など、また、市町村合併による新しい市町名が多くなったため、名称変更によほど詳しい人でないと分からなくなりました。「昔の名前で出ていません」、時代の動きが急なため、井の中の蛙にならないようにしたいものです。

石井知事は“中興の祖”となるべきだ 県の借金のすべてを公表して欲しい

㈱馬場総合鑑定所、不動産
鑑定士、シティブランナー
馬場 勉

年の瀬の多忙な時期ですが、不慮の事故にあわないように注意しましょう。どんな一年だったでしょうか？泣いても笑っても後少しです。

1. 「男の一生」の悲哀

ある事情通の話。家庭裁判所の離婚調停の申し立てを女性が60才以上の男性に対してする場合が非常に目立つそうです。会社人間で一所懸命家庭を顧みず働いて、定年を迎えてやれやれこれからというときに「三下半」を突き付けられては泣くに泣けません。男のほうに責任のある場合があるのも事実でしょうが…。

それにしても困ったものです。平素のコミュニケーションが足りないのが原因らしい。朝と夕の会話と、昼間のご機嫌伺いの電話が必要なようです。甘やかすなどと思われるお方は捨てられる可能性が十分あります。

ある女性社長が言っていました。「男の従業員は一週間に一度褒めていれば、馬車馬のように働いてくれるので楽なのだが、女性の場合は常に褒めておかないと機嫌を悪くするので大変だ」とこぼしていましたが、一面の真理はありそうです。

世の中の半分は女性です。女性から嫌われて落選した人も多くいるではあ

をうまく引き出した企業は、成功している確率が高いのです。

女性の活用に自信の無い人は、男性中心の企業にすることです。女気のない会社でも、仕事はやれるでしょう。その逆もあるのですから。

しかし、家庭崩壊にいたっては困りますから、お世辞を織り交ぜた会話をするのが大切なようです。女性は、男の本当のやさしさを求めるものようです。いずれにしても、男女のなかは“相性の善し悪し”が左右するようです。

一度心が離れると、女性の気持ちの回復はかなり難しいと思って間違いないはず。単身赴任のお方や、離れ離れで生活をなされている偉い人達は、対策を考えておく必要がありそうです。離婚調停にみられる世相を他人事と無視することは、本当のところリスクが多すぎるようです。

2. ある日、突然では困る

朝刊に705億円の債務処理に関する活字が飛び込む。岡山県林業公社に対する県が債務保証した借金だ。県民は岡山県林業公社など知らない人がほとんどだろう。

これだけならまだしも、岡山県土地

開発公社、岡山県住宅供給公社、倉敷チボリ公園など、隠れ負債がどのくらいあるのでしょうか？はっきりしたことは、県庁マンでも把握困難なようです。とにかく洗い直して県民の前に示し、善後策を皆で考えようではありませんか。県民は協力を惜しみませんから…。

県民の負担すべき借金ですから、県民は真実を当然知らなければなりません。一説では1兆円以上の債務があり、金利だけでもすごいとうわさもあります。誰の責任だと水掛け論をしてもはじまりません。利用策を県民挙げて考えようではありませんか。どうにもならないものは、不良債権として清算しましょう。

石井県知事は、これから4年弱の任期中に道筋をたててほしいものです。債務の借り換えによる先送りはすでに限界があります。小手先の数字合わせではいけません。県民に緊縮財政を強いているのですから、先に真実を開示して自分たちの自己改革をまずやるべきでしょう。例えば民間を見習って一般人の目線で当たり前のことをやらなければ県民は納得しませんよ…。(16・12・1)

今年も残りわずかになりました。皆様、どのような一年でしたか？楽しかったことあり、忘れてしまいたいこともあるでしょう。年齢とともに早いような気がする日々ですが、単調な生活であればそう感じ易いかもしれませんね。出来るだけ仕事を多くして働く（他人を楽にさせる）ようにすることですか？

私は、8月末から9月初めに北欧とロシアを旅しましたが、勉強になりました。

東京から博多までの主要都市へ講習会等の出席のため出張しています。週のうち2日間程は県外にいる勘定になります。自分で、仕事＝趣味＝遊びをつくって時間を長くするように工夫しています。時間と費用を掛けて出かけているのですから、多くの情報を取り込み収穫が多いように努めようと、質疑応答には積極的に参加するように心掛けています。来年の希望と夢は、いかがですか？私はまだ考えていませんが…。